



わかりやすく解説

野田市の財政

令和5年度決算版

みんなでつくる 学びと笑顔あふれる コウノトリも住めるまち

野田市 企画財政部 財政課





はじめに

「野田市の財政状況はどうなっているの?」「決算書を見てもよくわからない」

こうした皆さんの疑問にお答えしようと、『わかりやすく解説 野田市の財政』を作成しました。

本冊子では、令和5年度決算をもとに、皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金などがどのように使われたのかをわかりやすく解説していきます。

市の予算書・決算書などは、法律などで定められた用語を使う必要があるため、一般的に聞き慣れない用語を多く使用していますが、本冊子では、できるだけ身近な表現で簡潔に説明しています。本冊子をご覧になって、更に詳しい内容を知りたい方は、予算書・決算書などをご覧いただきたいと思います。

本冊子が、少しでも市の財政（お金のやりくり）状況について理解を深める一助となれば幸いです。

財 政 課



目 次

● はじめに	・・・ 1
● 予算・決算ってなに?	・・・ 2
● 令和5年度の決算を見てみよう	・・・ 3
● 歳入・歳出の推移は?	・・・ 4
● 一般会計は16.3億円の黒字となりました	・・・ 4
● 歳入決算の内訳は?	・・・ 5
● 市税の内訳は?	・・・ 6
● 歳出決算の内訳は?	・・・ 7
● 家計簿に置き換えてみましょう	・・・ 8
● 借金はしない方がいいんじゃないの?	・・・ 9
● 貯金はどれくらいあるの?	・・・ 10
● 財政状況は大丈夫なの?	・・・ 11
● 今後の見込みはどうなっているの?	・・・ 12
● 令和5年度はどんな事業を行ったの?	・・・ 13
● おわりに	・・・ 14





予算・決算ってなに？

Q.「財政」ってなに？

A. 財政とは、わかりやすくいうと「お金のやりくり」のことです。

地方公共団体は、小・中学校、幼稚園、保育園の運営やごみの収集・処理、子育て世帯や高齢者、障がい者の支援、道路や公園、上下水道の整備や維持、消防など様々なサービスを行っています。

皆さんに納めていただいた税金などを活用して、必要性や優先度を考え、何にどのくらい使っていくかというやりくりをしています。

市では、原則として、このやりくりを会計年度（4月から翌年3月までの1年間）ごとに行います。

Q.「予算」ってなに？

A. 予算とは、1年間に市へ入ってくる皆さんからの税金や国・県からの補助金などの収入を見積もって、その範囲内で、何のためにどのくらいのお金を使うかのやりくりを「計画」したものです。市の仕事は、この予算に従って行われます。

会計年度における収入を「歳入」、支出を「歳出」といいます。



Q. 予算はどうやって決めるの？

A. 市長が「当初予算」の案を作成し、前年度の3月市議会に提出します。市議会で予算の内容を審査していただき、議決を受けて予算が成立します。

年度途中で災害や不測の事態などが生じて、更にお金が必要となる場合や事業が廃止となる場合があります。この場合は、年度途中で「補正予算」の案を作成して市議会に提出し、議決を受けています。



Q.「決算」ってなに？

A. 会計年度が終了した後に、実際に入ってきたお金と使ったお金の結果を取りまとめたのが「決算」です。

市の会計管理者が作成した決算書は、監査委員による審査を経て、市長が翌年度の9月市議会へ提出し、市議会の認定を受けます。





令和5年度の決算を見てみよう

令和5年度は、どのくらいの収入と支出があったのか、決算の内容を見ていきましょう。各会計の歳入・歳出決算の総額は、下表のとおりです。
一般会計は、16億2,984万円の黒字となりました。



		歳入	歳出	収支差
一般会計		597 億 4,199 万円	581 億 1,215 万円	16 億 2,984 万円
特別会計	国民健康保険特別会計	163 億 7,575 万円	163 億 4,046 万円	3,529 万円
	介護保険特別会計	130 億 2,848 万円	128 億 3,969 万円	1 億 8,879 万円
	次木親野井特定 土地区画整理事業特別会計	3,636 万円	3,636 万円	—
	後期高齢者医療特別会計	23 億 7,633 万円	23 億 7,002 万円	631 万円
	合 計	318 億 1,692 万円	315 億 8,653 万円	2 億 3,039 万円
公営企業会計 (収益的収支(税抜))	水道事業会計	32 億 7,880 万円	27 億 6,603 万円	5 億 1,277 万円
	下水道事業会計	34 億 1,297 万円	34 億 469 万円	829 万円

※水道事業会計は、この他に配水管路、浄・配水設備等の更新を行う資本的収支があり、支出額（税込）は14億7,734万円で、資本的収入1,046万円と減価償却費等で確保された資金を財源として実施しました。

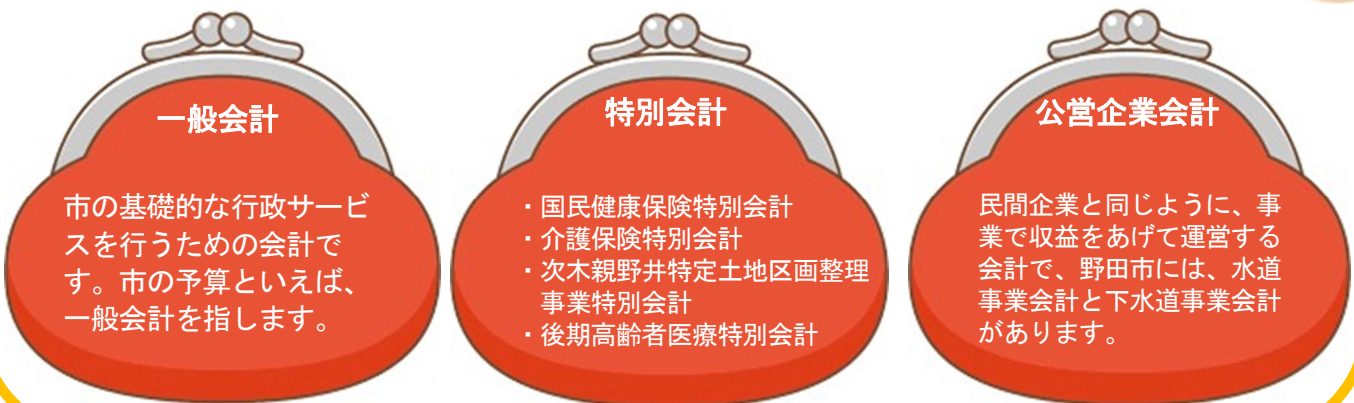
※下水道事業会計は、この他に下水道管路の整備、ポンプ場設備の更新等を行う資本的収支があり、支出額（税込）は19億8,327万円で、資本的収入9億7,368万円と減価償却費で確保された資金を財源として実施しました。

※表示単位未満四捨五入により作成しているため、計算値が一致しない場合があります。

会計の考え方

市では、福祉・教育・道路整備・ごみ処理など数多くの事業を行っています。
お金の出し入れをわかりやすくするため、特定の収入（国民健康保険料、介護保険料など）があるものは、お財布（会計）を分けて管理しています。

野田市には、
4つの特別会計が
あるんだね

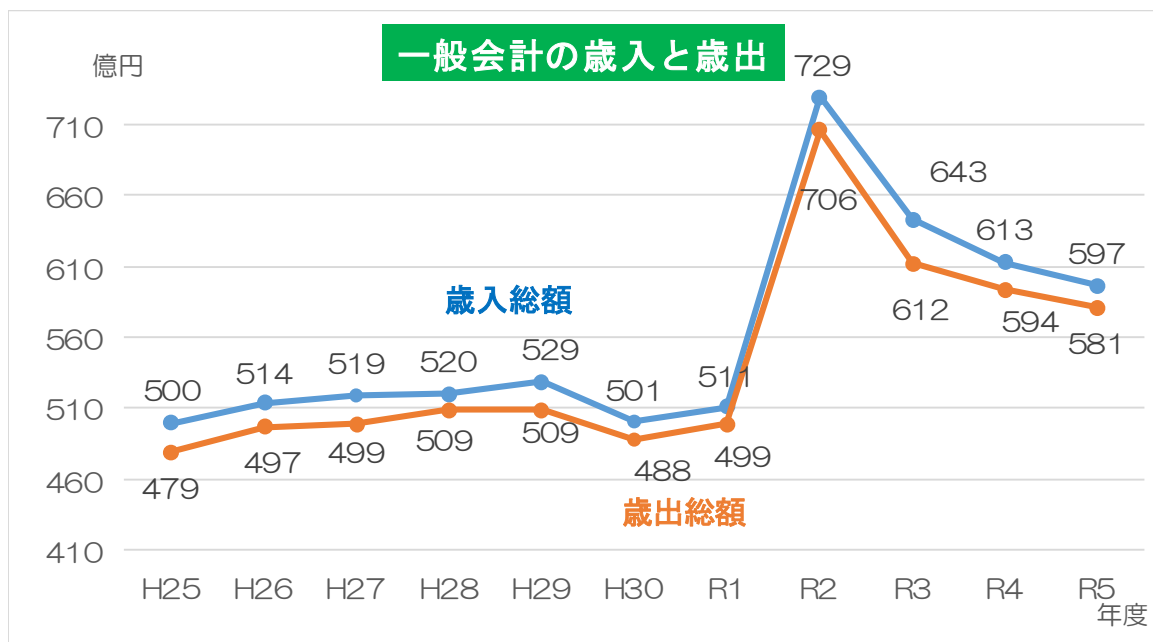




歳入・歳出の推移は？

一般会計の歳入総額と歳出総額の推移を見てみましょう。

平成 26 年度からは、消費税率の引上げに伴う社会保障の充実や小中学校及び幼稚園のエアコン整備などにより、増加傾向が続いていましたが、平成 30 年度は、学校等のエアコン整備完了に伴い減少しました。令和 2 年度は、国及び市独自の新型コロナウイルス感染症対策事業の実施により大幅に増加しましたが、令和 3 年度以降は、新型コロナウイルス感染症対策事業が徐々に縮小されたことで、減少傾向が続いています。



一般会計は 16.3 億円の黒字となりました

一般会計の歳入総額から歳出総額を差し引いた約 16.3 億円から、令和 6 年度に繰り越した事業の財源 5.8 億円を除いた 10.5 億円が、実質的な黒字額です。

では、この黒字がどのように使われるのかを調べてみましょう。



黒字は、将来に備えて、最低でも半分は貯金（財政調整基金に積立て）に回します。残りは、更に貯金をしたり、補正予算の財源として使われたりします。

令和 5 年度の黒字は、令和 6 年 9 月市議会で約半分の 5.1 億円を貯金し、残りは新たな事業など（補正予算）の財源としました。





歳入決算の内訳は？

一般会計の歳入決算額は、597 億 4,199 万円でした。

歳入の根幹となるのは皆さんに納めていただいた「市税」になりますが、その他に公共施設の使用料や国・県から交付されるお金などがあります。

不足部分は、借金（市債）をしながらやりくりしています。

市の歳入は、市税や地方交付税など使い道が自由な「一般財源」と、建設事業や福祉、教育等のために国・県から交付される補助金、建設事業のために国や銀行から借りる借金（市債）など、使い道が決められている「特定財源」に分けられます。

市民の皆さんの様々なニーズにお応えするためには、使い道を自由に決めることができる「一般財源」の確保が重要です。



■市税（一般財源）

市に納めていただいた税金

■使用料及び手数料（特定財源）

公民館の使用料や住民票の交付手数料など

■その他

市有地を売却して得たお金、寄附金、貯金を取り崩したお金、前年度から繰り越したお金、保育園の保育料や施設の入所費用など特定の利益を受ける方が負担したお金など

■国・県支出金（特定財源）

国や県から交付された補助金

■地方交付税（一般財源）

地方公共団体間の行政サービスの差をなくすために国から配分されたお金

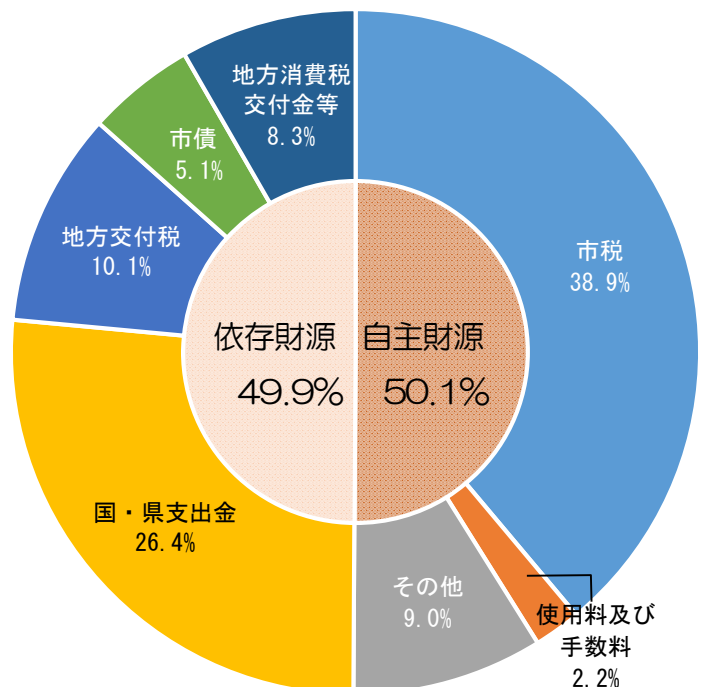
■市債（特定財源）

国や銀行などから借りたお金

■地方消費税交付金など（一般財源）

地方消費税などの皆さんが納めた国・県の税金の一部が、県から交付されたお金

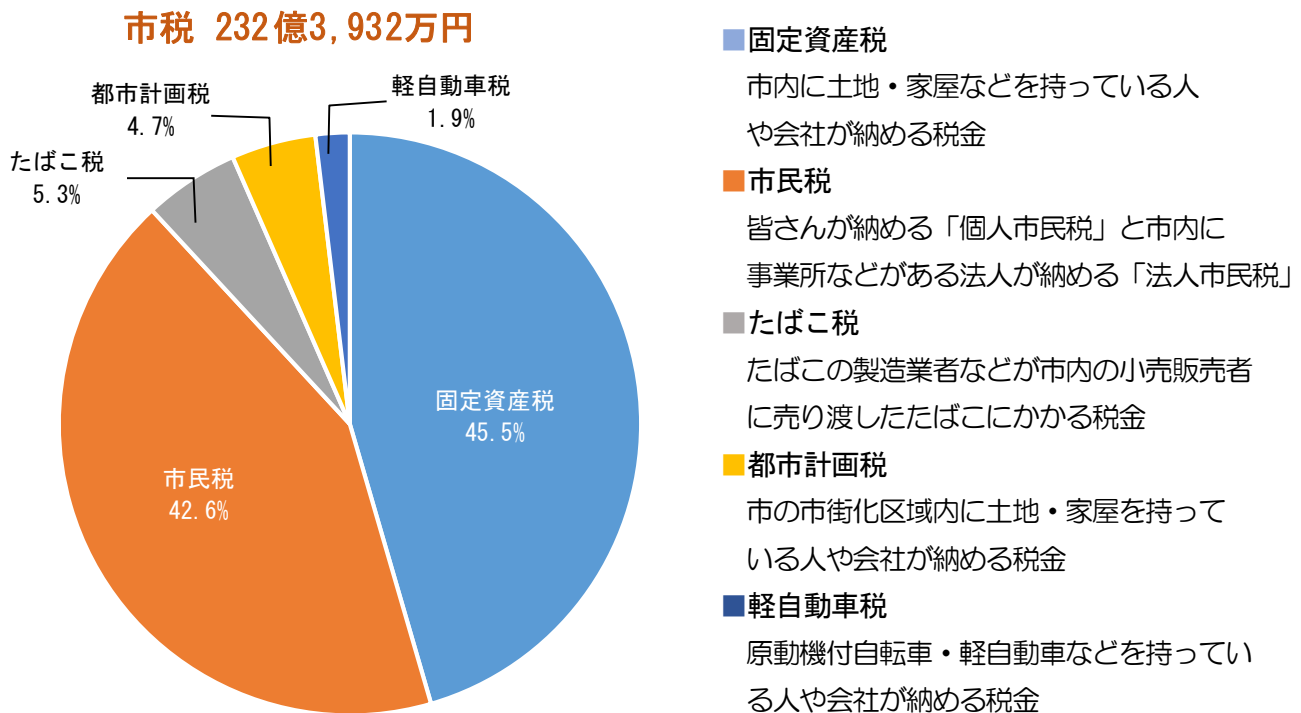
歳入 597億4,199万円





市税の内訳は？

市税の内訳は、「固定資産税」と「市民税」で約9割を占めています。



収入におけるポイント

自主財源と依存財源

収入を見る上で重要なポイントは、自主財源と依存財源の割合です。

自主財源とは、地方公共団体が自主的に収入できるお金のことです。市税や使用料などが該当します。依存財源とは、国や県から交付される補助金や地方交付税、市債などが該当します。

依存財源が多くなるということは、外部からのお金に頼るということです。結果として市の自由度が減ります。自主財源を確保すれば財政が安定し、市独自の事業をより多く行うことができます。





歳出決算の内訳は？

一般会計の歳出決算額は、581 億 1,215 万円でした。

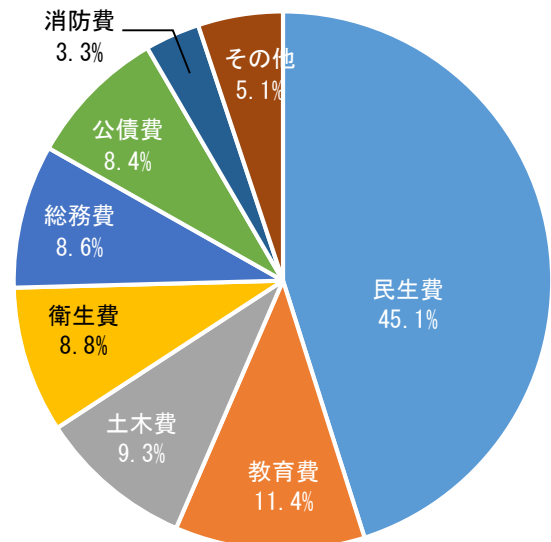
その内訳は、目的別では民生費（高齢者、障がい者、児童などの福祉の費用）の割合が多く、性質別では扶助費（生活保護、児童手当の給付、私立保育園の運営費補助などにかかる費用）の割合が大きくなっています。



何のために使われたか（目的別）

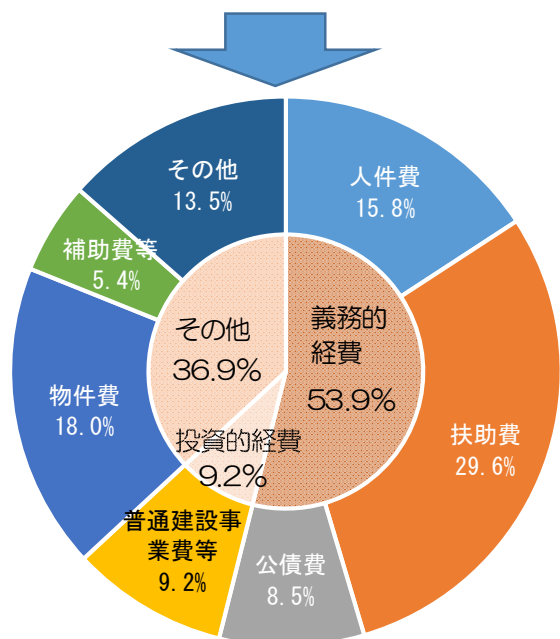
- 民生費
高齢者、障がい者、児童などの福祉の費用
- 教育費
小・中学校、幼稚園、生涯学習などの費用
- 土木費
道路や公園の建設や改修などの費用
- 衛生費
ごみ処理、がん検診、予防接種などの費用
- 総務費
戸籍や住民票の発行、情報化推進などの費用
- 公債費
国や銀行などから借りたお金の返済費用
- 消防費
消防、救急活動などの費用
- その他
農業や商工業の振興などの費用

歳出決算額 581億1,215万円



どのような用途に使われたか（性質別）

- 人件費
市職員の給与などの費用
- 扶助費
生活保護・児童手当の給付、私立保育園の運営費補助などの費用
- 公債費
国や銀行などから借りたお金の返済費用
- 普通建設事業費等
道路や公園、学校などの公共施設の建設、改修などの費用
- 物件費
業務委託、消耗品の購入などの費用
- 補助費等
公益的な事業に対する補助金などの費用
- その他
特別会計の歳入補てん、施設の修繕などの費用





家計簿に置き換えてみましょう

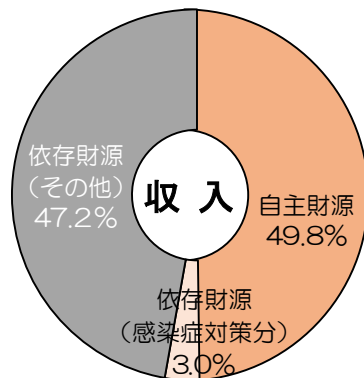
一般会計の歳入・歳出の額は、数字が大きすぎてなかなかイメージしにくいので、
市民一人当たりで計算し、家計簿に置き換えて考えてみましょう。
(市の人口：15万3,656人：令和6年3月31日現在の住民基本台帳人口)



収 入

・給与（市税）	151,243 円
・パート収入 (使用料・財産収入など)	18,735 円
・親からの援助 (国・県支出金・地方交付税など)	163,922 円
・ローン借入れ（市債）	19,800 円
・貯金の取崩し（繰入金）	8,543 円
・その他（繰越金など）	15,082 円
・保険金 (新型コロナウイルス感染症対策 に対する国・県支出金)	11,478 円

合 計 388,803 円

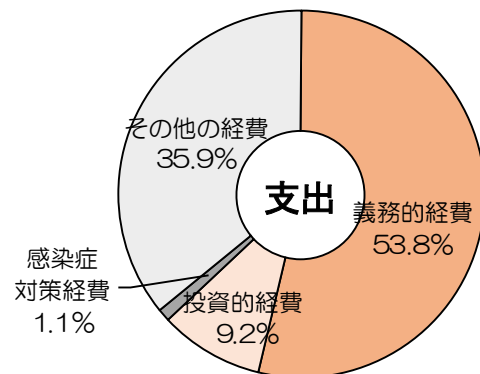


給与やパート収入など(自主財源)だけでは
やりくりできず、親からの援助や借入れな
ど(依存財源)に頼っている状態です。

支 出

・食費（人件費）	59,852 円
・医療費、教育費（扶助費）	111,743 円
・光熱水費、通信費（物件費）	64,510 円
・住宅ローン返済（公債費）	31,959 円
・家のリフォーム費用 (普通建設事業費等)	34,783 円
・子どもへの仕送り（繰出金など）	36,921 円
・予防接種費 (新型コロナウイルス感染症対策費)	4,117 円
・雑費（修繕費など）	22,784 円
・貯金（積立金）	11,527 円

合 計 378,196 円



令和5年度は食費や教育費、住宅ローンな
ど、必ず支払わなければならない経費（義
務的経費）が大きな割合を占めています。





借金はいらない方がいいんじゃないの？

Q. なぜ借金をしているの？

A. 収入と支出の年度間調整を行うためです。

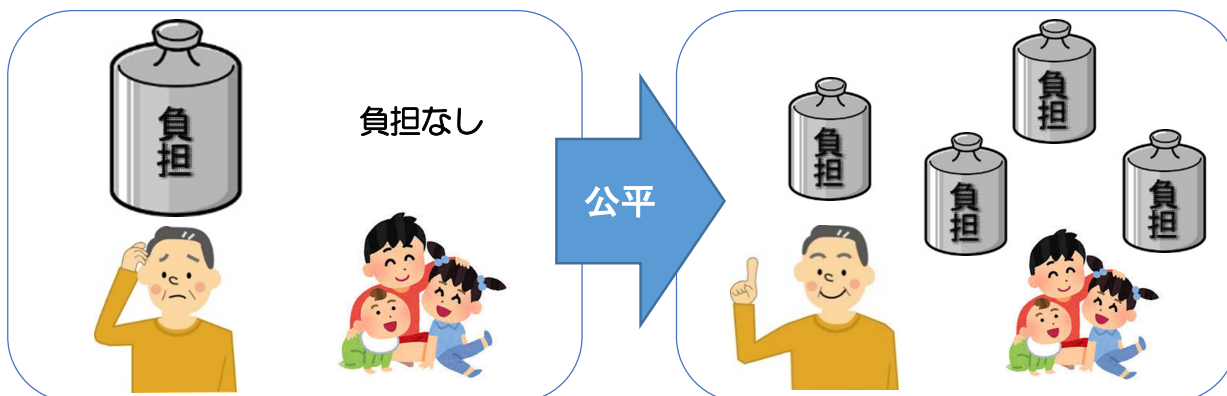
ご家庭で家や車を買うときは、ローン（借金）を組むことがあります。市でも、学校の耐震改修やエアコン整備などの大規模な事業には借金をしています。この借金を市債といいます。

もし、借金をしないで単年度の収入だけで支払おうとすると、ほかの事業に大きな影響が出てしまいます。

A. 世代間の負担の公平性を確保するためです。

道路や公園、学校などは、長期間にわたり使用していくものです。

子どもやこれから転居してくる方など、施設を使用する将来の納税者にも費用を負担してもらう必要があります。



Q. 借金はどれくらいあるの？

A. 令和5年度末で約 403 億円です。

市民一人当たりの残高は、262,151 円になります。

Q. ちゃんと返せるの？

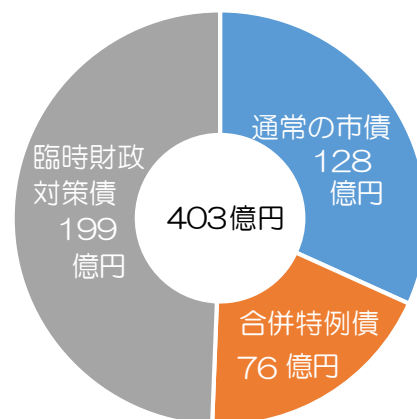
A. 市債は、右の円グラフのように、大きく分けると3つの種類があります。このうち、合併特例債は7割、臨時財政対策債は全額、国が返済を支援してくれます。

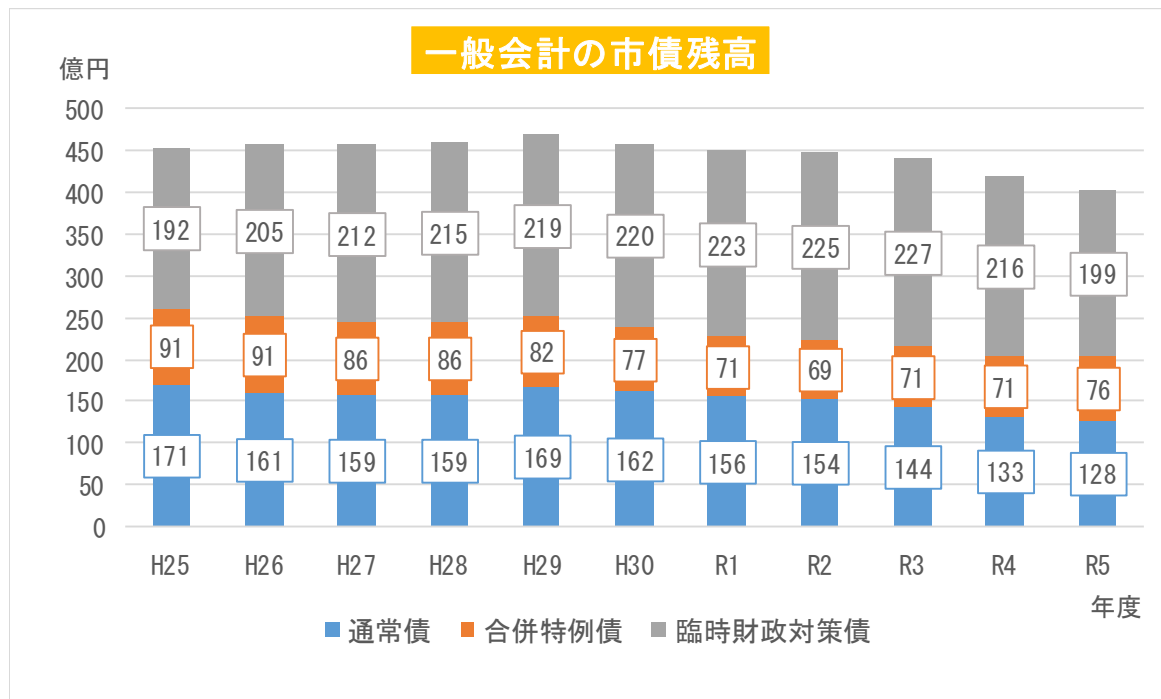
市は、こうした支援のある市債を有効活用しながらも、借り過ぎて返済に困ることがないように注意しています。

合併特例債・・・合併後の新市をつくるための市債

臨時財政対策債・・・地方交付税（国からの支援金）を立て替える市債

令和5年度末市債残高
（一般会計）



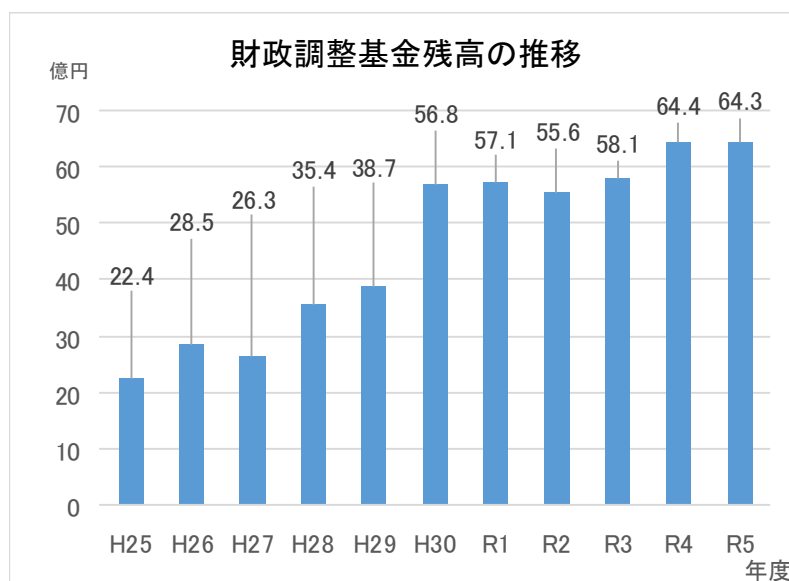


貯金はどれくらいあるの？

市では、施設建設など多額な支出に充てるための貯金や万一の時に備えての貯金をしています。市の貯金は「基金」と呼び、野田市には 19 種類の基金があります。



19 種類ある基金の一つ「財政調整基金」は、野田市で最も残高の多い基金です。



経済変動で税収が不足する場合や災害、大規模事業などでたくさんのお金が必要となった場合など、やむを得ない事情があったときに取り崩して活用しています。

残高目標を約 60 億円と定め、貯金に努めてきました。

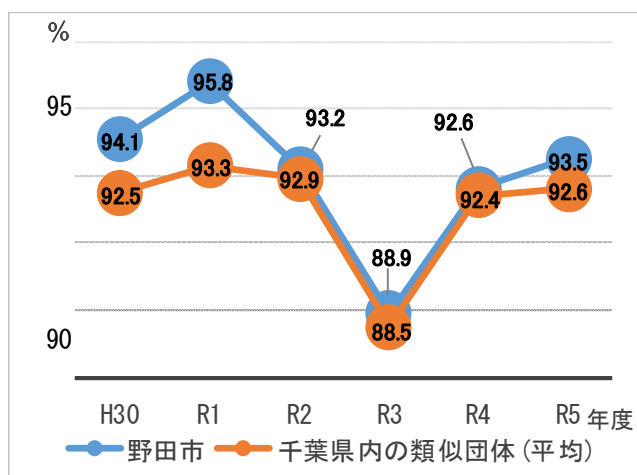




財政状況は大丈夫なの？

市の財政状況について、様々な指標を使って見てみましょう。

(1) 経常収支比率



類似団体・・・市町村を人口と産業構造の2要素で分類し、同じグループに入った団体

「経常収支比率」とは・・・

生活費
(医療費・食費・借金返済など)

使い道が自由な収入
(給与・パート収入など)

× 100
(%)

比率が高いほど自由に使えるお金が少なく、余裕がないことになります。
比率は前年度に比べて高くなり、かつ、県内の類似団体より高い水準であり、余裕がない状況です。



(2) 健全化判断比率

健全化判断比率とは・・・

自治体の財政破綻を未然に防ぐために、平成19年に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が定められました。自分の世帯（一般会計など）だけの状況だけでなく、影響を受ける子どもの世帯（下水道事業会計など）を含めた状況を見るもので、次の4つがあります。

- ① 実質赤字比率 : 自分の世帯の給与収入などに対する赤字の割合
- ② 連結実質赤字比率 : 自分の世帯の給与収入などに対する赤字（子どもの世帯を含む）の割合
- ③ 実質公債費比率 : 自分の世帯の給与収入などに対する借金返済額の割合
- ④ 将来負担比率 : 自分の世帯の給与収入などに対する借金の残高の割合

	野田市 (令和5年度決算)	イエローカード 基準	レッドカード 基準
①実質赤字比率	－（赤字なし）	11.69%	20%
②連結実質赤字比率	－（赤字なし）	16.69%	30%
③実質公債費比率	4.3%	25%	35%
④将来負担比率	－（該当なし）	350%	－

野田市は、
健全な状態
なんだね



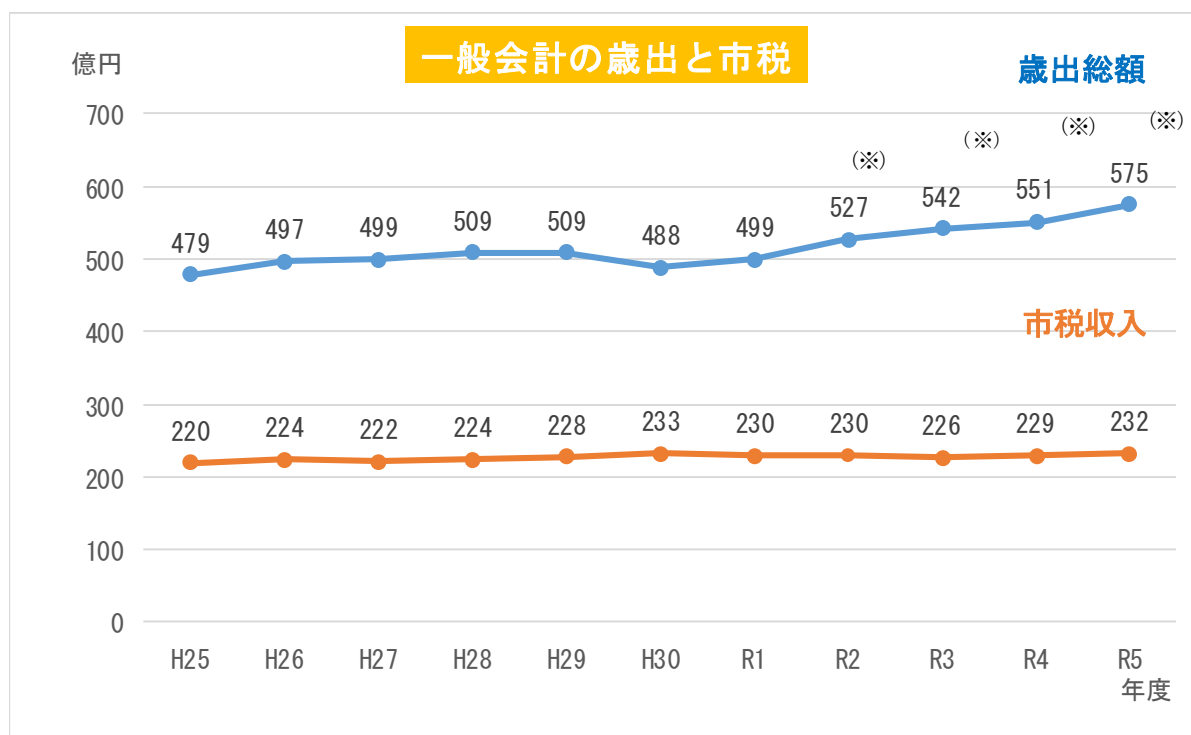


今後の見込みはどうなっているの？



一般会計の歳出総額と市税収入額の推移を見てみましょう。

新型コロナウイルス感染症対策を除いた歳出総額は、昨年度より24億円増となり、10年前に比べると96億円も増加しています。しかしながら、市の歳入の屋台骨であり、歳入の中で大きな割合を占める市税収入は、10年前よりほぼ横ばいで推移しており、今後も大幅な増収を見込むことはできません。



※ 令和2年度から令和5年度の歳出総額は新型コロナウイルス感染症対策経費を除く。



今後も皆さんに必要なサービスを展開するために、平成29年度から全ての事業を見直し、ムダを省き、事務効率を上げることで財源を生み出す作業を続けています。



令和5年度はどんな事業を行ったの？

例えば、歳出決算での主な事業は次のとおりです。



子ども・子育て支援

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| ・ 保育所の運営
(委託、補助を含む) | 18 億 7,288 万円 |
| ・ 学童保育所の運営・整備
(委託、補助を含む) | 4 億 4,611 万円 |
| ・ 子ども医療費助成 | 6 億 9,039 万円 |
| ・ 子どもの発達相談室の
運営 | 538 万円 |



新設された川間学童保育所

都市基盤の整備

- | | |
|---------------------|---------------|
| ・ 鉄道高架事業 | 9 億 2,184 万円 |
| ・ 野田市駅西口の土地
区画整理 | 6 億 5,974 万円 |
| ・ 愛宕駅駅前広場
の整備 | 1 億 9,638 万円 |
| ・ 浸水対策 | 2 億 3,544 万円 |
| ・ 道路の改修・維持 | 10 億 5,783 万円 |
| ・ 公園 | 4 億 6,641 万円 |



整備された野田市駅前広場



整備された野田市駅前広場





学校教育の振興



- ・ 小学校トイレ洋式化等 5 億 7,864 万円
- ・ 学級事務支援員の配置 891 万円
- ・ 就学援助 1 億 3,363 万円
- ・ 小中学校施設改修 1 億 5,414 万円
- ・ 子ども未来教室 2,857 万円
- ・ 土曜授業 955 万円



尾崎小学校のトイレ改修

その他



- ・ 物価高騰対策 20 億 7,928 万円
- ・ 南部地区広場の整備 3,031 万円
- ・ まめバスの運行 1 億 7,172 万円
- ・ 生物多様性自然再生事業 2,441 万円
- ・ 消防・救急 4 億 3,053 万円
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策 6 億 3,255 万円



整備された山崎小前あそびの広場

※他事業に計上している感染症対策経費を含む。

おわりに

これまで見てきたとおり、現在の野田市は健全な財政状況にあるものの、経常収支比率は県内の類似団体に比べて高い水準にあり、決して余力のある状態ではありません。

一方、社会保障に関係する費用や公共施設の老朽化対策など、今後、更に歳出が増加することも見込まれますので、ムダを省き、事業の優先度・緊急性などを踏まえながら、市民の皆さんのニーズにお応えできるよう事業を進めてまいります。

ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

令和6年9月 野田市 企画財政部 財政課

